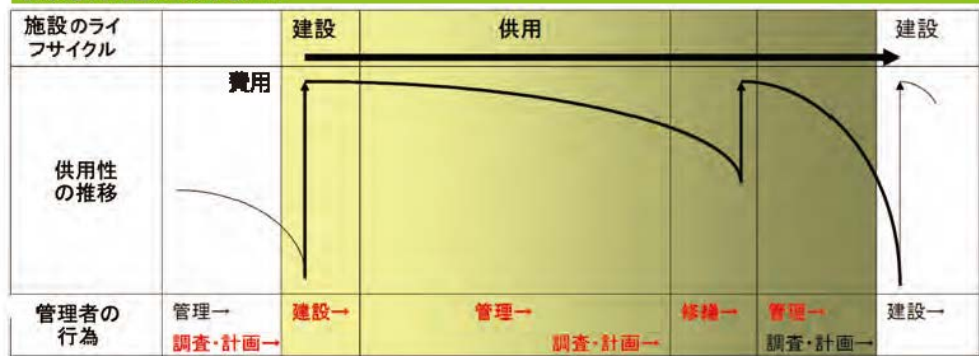


高齢化を迎えている社会インフラを長く大事に保全し、安全で安心なサービスの提供やライフサイクルコストの削減等を図るため、定期的な点検により早期に損傷を発見し、事故や大規模な修繕に至る前に対策を実施する予防保全を実施しています。

長寿命化とは何か？

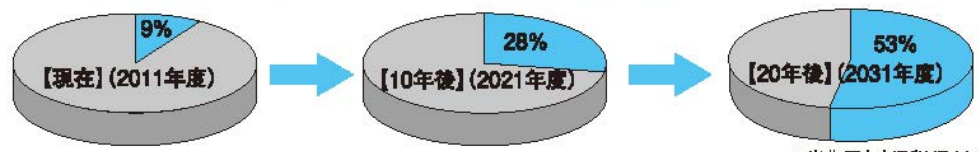


更新予定時期までに適切な維持管理を行うことで寿命を延ばしつつライフサイクルコストを低減します。



日本の橋梁の現況 (建設後50年以上の橋梁箇所数の増加)

- 我が国の橋梁(橋長15m以上)は約15.7万橋(約157,000橋)※
 - 全国の橋梁における築後50年以上割合は9%存在(2011年度時点)
10年後(2021年度)には28%、20年後(2031年度)には53%
- ※橋長15m以上対象、1箇所において上下線分離している場合も1橋でカウント



※出典:国土交通省HPより